

2026年6月12日(金)**基調講演**

15:30 ~ 17:00 | イベント会場(2号館 3F 大教室)

[OE] 基調講演

郡司ペギオ幸夫 (早稲田大学 教授)

15:30 ~ 17:00

[.FhlePcq-1add] 基調講演「混沌、複雑さを内天然知能：外部に開かれた「普遍的不在」をデザインする」

基調講演

■ 2026年6月12日(金) 15:30 ~ 17:00 | 会場 イベント会場(2号館 3F 大教室)

[OE] 基調講演

郡司ペギオ幸夫 (早稲田大学 教授)

講演概要

事物は環境内に存在し、外部が存在する。外部とは、環境変化であり、予想外の使用者の使い方である。このような外部はノイズではなく、事物は絶えずこれらを取り込みながら、環境内を生きていく。では、いかにして外部に開かれた事物を構成できるだろうか。ここでは、「天然知能」と呼ばれる、外部に開かれた普遍的不在を作り出す、というデザインを提案する。それは、矛盾を構成しながら同時にこれを脱色するという方法である。不在とは、特定の何かの欠如を意味するが、誰でも、なんでもが、「ここは自分がいるべき場所ではないのか？」と思うものが、普遍的不在である。以上をさまざまに例示しながら、どのような意義を持つか、論じたい。

講演者略歴

1959年 茨城県水戸市生まれ

1982年 東北大学理学部地学科卒

1987年 日本学術振興会特別研究員・東北大学大学院博士後期課程修了(理学博士)・神戸大学理学部地球科学科助手

1999年 神戸大学理学部地球惑星科学科教授

2014年～現在 早稲田大学基幹理工学部表現工学科教授・神戸大学名誉教授

単著

- 生成する生命：生命理論 I. 哲学書房(2002).
- 私の意識とは何か：生命理論 II、生成という存在態. 哲学書房(2003).
- 原生計算または存在論的観測. 東京大学出版会(2004).
- 生命理論. 哲学書房. 東京(2006).
- 生きていることの科学. 講談社現代新書(2006).
- 時間の正体：デジャブ・因果論・量子論. 講談社メチエ(2008).
- 生命番号、おそろしく単純な生命のモデル. 青土社(2010).
- 群れは意識を持つ. P H Pサイエンスワールド新書(2013).
- いきものとなまものの哲学. 青土社(2014).
- 生命、微動だにせず. 青土社(2018).
- 天然知能. 講談社メチエ(2019).
- やってくる. 医学書院(2020).
- かつてそのゲームの世界に住んでいたという記憶はどこから来るのか. 青土社(2022).
- 創造性はどこからやってくるか：天然表現の世界. ちくま新書(2023).

共著

- 中村恭子・郡司ペギオ幸夫 (2018) TANKURI:創造性を撃つ. 水声社.
- 浦上大輔, 郡司ペギオ幸夫 (2021) .セルオートマトンによる知能シミュレーション:天然知能を実装する. オーム社.

最近の論集

- アナロジーの位相：利口なハンスの知性はどこにあるか，“科学と文化をつなぐ、アナロジーという思考様式（春日直樹編, 東京大学出版会）”pp.307-328(2016).
- 知覚と記憶の接続・脱接続：デジャビュ・逆ベイズ推論. 書肆心水, 東京 pp311-331.
- 外部を召喚する過程・装置としての情動、その形式的理解『アフェクトゥス, 生の外側に触れる（西井涼子・箭内匡編）京都大学学術出版会, pp. 377-404(2020).
- シャルル・フーリエの情念を天然知能的計算に転回する. 『シャルル・フーリエの新世界』福島知己編, 水声社, p.353-390(2024).

15:30 ~ 17:00

[.FhlePcq-1add] 基調講演「混沌、複雑さを内天然知能：外部に開かれた「普遍的不在」をデザインする」